

何の変哲もない日 常の話

男は路地を歩いていた。

車通りの多い国道に出てから

再び街の小道を歩く。

マンションやコンビニ、廃れたパチンコ屋などが立ち並ぶ。

ふと、たまに顔を出すカフェの店主と挨拶を交わす。

それだけの話ではあるが

• • • • •

所謂、何の変哲もない日常。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。